

今月の法話

一、日本における「占い」と「宿曜経」について

初めに、私は占いの専門家ではなく僧侶でありますから、多様な占いについて学んでいるわけはありません。仏法を實踐するに当たって必要な知識を皆様と共有することが今回のプリントの目的です。

さて、皆さんは占いをどれだけ目にされるでしょうか？朝の情報番組でも必ずと言ってよいほど占いのコーナーが存在しますし、書店に行けば占い本のコーナーがある。神社やお寺に行けばみなこぞっておみくじを引きに行く。占い好きは何も日本に限った話では有りません。ホロスコープなどの天体図をもちいた星占いやタロットカードなど、数えればきりがありませんし、日本にも多くの占いが輸入されてきました。科学全盛たる現代の日常の中にも占いは強く根付いています。

さらに日本の歴史において「占い」は非常に重要な位置を占めてきました。陰陽師などは皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。平安時代の貴族などは日々の生活にも占いの結果を取り入れて生活していたようで、風呂に入る日から爪を切る日まですべて占いの結果を参考に決めていたとも言われます。

これには当時の風土に要因があります。現在でもいまだ猛威を振るう新型コロナウイルス。疫病の流行は昨今に始まったことではなく、生物がこの世に生まれてから数億年もの間、常に戦い続けてきました。日本では奈良時代や平安時代には何度も疫病の流行が確認されています。この目に見えない疫病という災禍に立ち向かうため、当時の人々は様々な対応をしてきました。

疫病が発生してしまった場合には仏教による加持祈祷や悔過法要などが執り行われ、鬼気祭を初めとした「鬼」を払う儀礼も行われます。(却温神呪経なども鬼を祓う) もちろん、医師による治療(薬の処方や鍼灸による治療)も行われ、修験者や陰陽師による呪術を併用する形が取られています。これは現代にも通じる考え方です。

一方で先述のように占いに基づいて様々な行動を決めることは、疫病の発生の予防として用いられました。疫病の恐ろしさを知っているからこそ、ここまで気を使う必要があつたのです。今の世の中でも朝の占いの吉凶で行動を決める方も少なからずいらつしやるようです。占いは盲目的に信じるのではなく、いかに活用することができるのかを考えることが肝心です。

密教においては日の吉凶をみることは非常に重要視され、『金光明経』など様々な仏典でも言及されています。そんな中、空海ら密教僧によつて体系化された密教占星術が記された『宿曜経』が日本にもたらされました。この宿曜経をもとに陰陽道と対をなす「宿曜道」が生まれ、生年月日による鑑定などが広く用いられ、特に密教修法や祈願を行う場合、この日の吉凶は必ず見なければならなりません。

陰陽道と比べ、一般には知られていない宿曜道ですが、その影響は現在でも強く残っています。それは「曜日」です。宿曜経準拠の經典の一つである『文殊師利菩薩及諸仙所説吉凶時日善惡宿曜経』より「七曜」の概念が日本に入ってきました。ただし、明治までこの曜日という概念は一般庶民には広まらず、あくまで占星のための要素であつたのです。なので生まれの曜日で占うこともあります。また「曜」で言えば当山で毎年行つている「星供養」に用いる「九曜」もこの宿曜道に基づいていたものです(『梵天火羅九曜』による)。

また、日の吉凶だけでなく方位についても占います。実は戦国時代の戦において相手にとって凶方となる方面から進軍するなど、軍略にこの方位の見方は活用されてきました。当山では旅行や転居などの方位に関しては、毎月のプリントでは暗剣殺と五黄殺の方位を示していますね。暗剣殺は他者による災い、五黄殺は自身の災いが起こりやすい方角とされ避けるべきと言われます。(より詳しい活用については口伝)

しかし、旅行などで方位を気にするようになったのはここ最近のことです。というのも、江戸時代まで旅行というのは徒歩での移動でした。例えば、東京から伊勢まで行くとしましょう。今なら

新幹線であつという間に着いてしまいますが、徒歩であれば二週間以上かかったとされます。さて、江戸を出発したならば、まっすぐ伊勢の方角へ進めるでしょうか？そうです。東海道に沿って行きますよね。一泊目は戸塚でしょうか。であれば江戸から戸塚までの方位を見て。次は小田原だから…と、このように毎日向かう方角は変わりますから、一々方位を見ることもできません。なので、この場合は出発する日の吉凶を見るようにしていたと言われます。この日の吉凶を見るのに宿曜道を活用することができます。また、日の吉凶はその人の生まれによっても異なります。

では方位の吉凶はどのような場面で用いる事ができるのかというと、転居や旅行のみならず通勤、通学など常に動く場所にも適応されます。また、部屋の配置など家相にも活用することができます。

日や方位の吉凶というのは誰しも共通するものではなく、各個人で異なりますので個別に調べる必要があります。特に大きな決断を行う場合は、良い日を定めることで良縁を掴むことができます。ご希望の方はご相談くださいませ。

星供養では「九曜」に基づいてその年の吉凶を判断しておりますが、その吉凶に関わらず祈ることが大切だと説いてきました。それは悪い年回りであればより功徳を積むように意識することが肝要に、良き年回りであればそれは良いご縁を得やすいということですから積極的に功徳を積むのみでなく、さらに分け与える回向の心を持つことでより大きな利益を得ることができるためです。

仏教の、特に顕教において占いは否定されてきた側面があります。それはいたずらに不安を煽ったり、ただ占って終わりという占い師になることを戒めているのです。お釈迦様も、「宿命通」と呼ばれる神通力を持ち、未来を見通しアドバイスをすることがありました。しかし、それはあくまで仏法を修行させるための方便として用いることが目的です。良きご縁を得るための法は「信」の他にありません。宿曜道による占星もまた、より修行を完成させるための道標に他ならないのです。ぜひご活用の上で励んでください。合掌

南意日月光妙法蓮華經

東大寺三月堂（法華堂）では昔、法華堂衆による「千日不断花」と呼ばれる行法を行っていました。この行法にちなみ、観音大祭においてご本尊様に花供の御寄進をつのり、皆様のお心で荘厳したいと思います。（一口五百円から）この「千日不断花」の行法については、九月の勉強会に詳しくお話しいたします。

※秋の彼岸会は九月二十日～九月二十六日迄です。ご先祖様の供養と共にご自身の魂も磨いてください。個別の追善供養のお申込みを受け付けております。ご希望の日時がございましたら早めにお申込みください。

※本年の十五夜は九月二十九日（金）十三夜は十月二十七日（金）となります。観月会の詳細は別紙にてご確認ください。（十五夜は護摩法、十三夜は瞑想を行います）

※東大寺の初代住職であり、執金剛神を念持仏とされていた良弁僧正の千二百五十年御遠忌法要が十月十四日・十五日・十六日の三日間に渡る大法要として厳修されます。法要の三節などについては東大寺より詳しい法要の案内がまだきておりませんので、後日詳細をお知らせいたします。

*八月のラッキーカーラー、暗剣殺、五黄殺（八月八日～九月七日） ※一年通してのラッキーカーラーは桜色です。

*暗剣殺、五黄殺とは凶方位の事で移転増築や旅行など控えた方が良い方位となります。

八月のラッキーカーラー	黄	赤	スカイブルー	暗剣殺	北東	五黄殺	南西
-------------	---	---	--------	-----	----	-----	----

【お知らせと今後の予定】

- ① 九月の勉強会の日程：普賢光明寺（鎌倉）にて合同会となります。九月一日（土）、三日（日）、五日（火）午後一時より
 - ② 不空羅索観音大祭：九月十七日（日）鎌倉山本堂にて法要を行います。ご本尊様との大切な大功德日です。是非御出席ください。詳しくは別紙にてご確認ください。なお本年の小田原別院の観音祭は十月二十二日（日）十二時より厳修し、法要後に通常の勉強会を行う予定です。
 - ③ 滝行の予定：塩川滝 八月十一日（金・祝）六時集合 八月二十日（日）・九月十日（日）七時集合
夕日の滝 八月二十七日（日）六時集合
牧馬の滝 九月十八日（月・祝）（詳細は後日）
- 天候により中止になることもございます。変更になった場合は普賢光明寺のLINEでお知らせいたします。（行、見学共に事前に同意書の提出が必要となります。体験もできますので、是非ご参加ください）
- ④ 仏像彫刻教室：八月二十七日（日）、九月十日（日）十二時より
 - ⑤ 本年の象染明王護摩修法は、十一月十二日（日）に行じる予定です。

猛暑が続いておりますので、皆様くれぐれも御身大切に過ごしてくださいませ。合掌

○光明真言の功德力

八月のお盆にはお墓参りをされる方も多いことでしょう。昨今の猛暑の中では、長時間お経を上げることも難しくなってきました。決して一人ではお参りせず誰かと一緒に、そしてお墓にお供えするものだけでなく自身の水分も携帯して行くようにしてくださいませ。

墓前で唱えるお経として非常にご利益のあるものは破地獄の偈としても知られる「如心偈」、そして光明真言です。

光明真言の主なご利益は、過去の罪障を消滅せしめ、三悪道（地獄・餓鬼・修羅）に堕ちた魂を救済するなどが挙げられます。この真言は不空罽索毘盧遮那仏大灌頂光真言とも呼ばれ、大日如来に灌頂された不空罽索観音の威神力を発揮することのできるご真言です。（真言宗では五智如来の真言として解釈される）

オン アボキヤ ベイロシヤノウ マカボダラ マニ ハンドマ ジンバラ ハラバリタヤ ウ
ン（『不空罽索神変真言経』「灌頂真言成就品」）

毘盧遮那如来（大日如来）の大印をもって摩頂灌頂された不空罽索観音の輝きをもって我々凡夫の煩惱業垢を照らして消し去ってくださるという意味があります。観音の光はすべてを照らす光です。有縁無縁の諸霊への回向として心してお唱えください。